

せいいか幼稚園・保育園で10年以上勤務する 先生たちに聞いた「私のキャリアアップ」



my career
豊増 敬子先生 KEIKO TOYOMASU

- ・2009年 入職(せいいか幼稚園)
- ・2018年 産休・育休(旭ヶ丘せいいか保育園 主任)
- ・2019年 正職員として復帰
(ふたかみの森せいいか子ども園 主任)

主任としてのやりがいがある仕事を続けたい!

私が入職した頃は、まだまだ「出産したら辞めるかパート職員」という流れが根強く、私も結婚したら仕事を辞めて子育てに専念しよう、と思っていました(笑)。ある時、後輩の「私は生涯、「せいいか」で正職員で働きます!」という宣言を聞いて、そういう働き方もアリかな、と。産休に入る前は、主任として若い先生たちを育てる仕事にやりがいとおもしろさを感じていました。「せっかく10年も続けてきたキャリアを無駄にするのはもったいない」と家族からも背中を押され、産休前と同じ正職員で主任として復帰しました。

“せいいか”で働く醍醐味は「達成感」

先日、現在中学3年生の卒園生から「今でもみんなで集まって発表会の鑑賞会をしています。あの時頑張ったから、今も頑張れます!」という言葉を聞いて。子どもたちと先生たちとの一体感と何事にも全力でのぞむ熱量は、子どもたちの記憶に残るんだと感慨深いものがありました。他の園に転職した仲間たちからも「あの熱い気持ちと達成感をもう一度味わいたい」という話を聞きます。

まだまだ進化していく「おもしろい園」

理事長はじめ、現状に満足しないという考え方で、常に子どもたち、先生たち、保護者さまにとってより良い環境にしようと変化しています。働きやすくなるよう体制が整えられ、職場環境もどんどん良くなるなど変化を肌で感じ、もっと先生たちが安心して働きやすい園になっていくのだろうなとワクワクしています!



my career
井上かすみ先生 KASUMI INOUE

- ・2010年 入職(せいいか幼稚園)
- ・2015年 退職
- ・2015~2017年 他園で幼稚園教諭として勤務
- ・2017年 再入職(志都美せいいかナーサリー)
- ・2018年 施設管理者(志都美せいいかナーサリー)
- ・2021年 出産・育休
- ・2022年 正職員で復帰(せいいか幼稚園)

いったん退職して、感じたのは「感謝」

“せいいか”では保育だけでなく、社会人としての教養から人生の在り方まであらゆることを学ばせて頂きました。働いていた時には気づきませんでしたが、退職して“せいいか”ではあらゆることを学び自信がつく環境だったことに気付き、感謝しかありませんでした。そして、もう一度学びたいと“せいいか”に再就職。同期や後輩たちはみんな温かく迎えてくれたのですが、それでもやはり気まずさはありました。けれど、全職員が集まる親睦会で新しく入る先生を紹介する際に、理事長が「留学から帰って来てくれた先生です!」と明るく、ユーモアを交えて私を紹介してくれたのです。その時は出戻りの申し訳なさとバツの悪さで緊張していたのですが、理事長のその言葉で一気に気持ちがほぐれて、帰って来てよかったです。



今度は若い先生を支える動き方を

新人の時と違い、引き出しがたくさんある自分で子どもたちに接する事ができたのは、いったん退職して他の園で働いたことも無駄ではなかったと実感しました。さらに、育休から復帰して、正しさよりもやさしさを重視するように。まずは子どもの思いをぎゅっと抱きしめる、という考え方になりました。保護者さまに対しても気持ちに寄り添ってお話しできるようになりました。こういったキャリアを積んで身に付けた事をふまえて、今度は若い先生たちを支える立場でサポートしたいと思っています。



my career
田宮千尋先生 CHIHIRO TAMAI

- ・2003年 入職(せいいか保育園)
- ・2008年 結婚・退職・出産
- ・2011年 パート職員として復帰(旭ヶ丘せいいか保育園)
- ・同年9月 急遽、半年間の正職員期限復帰
(せいいか保育園の担任)
- ・2012年 再びパート職員に
- ・2013年 育休

辞めたら自分の存在価値が失われたようで…

当時は結婚したら退職、という流れだったので、私も結婚して一度退職しました。「もう一度、一緒に働きませんか?」と誘われてパートに復帰したのですが、とても嬉しかったです! それまで子どもたちに「先生、大好き!」とたくさん言われて、周りの方々に感謝し、感謝された日常だったのが、専業主婦になって、自分の存在価値が感じられなくなっていました…。まだ働いている同期の先生たちがキラキラしていてうらやましかったんです。急に担任をやってほしいとお願いされた時も不安や心配よりチャンスと思いました。また担任ができる! という喜びの方が強かったです。

現場に一番近い園長先生になろう

次の園長候補と言われ、もちろんプレッシャーはあります。ですが「人と比べるのではなく、昨日の自分と比べよう」と考えるとポジティブな気持ちになります。自分にしかできない事って何だろうと考えた時に、今も担任をしていますし、自分は現場に近い。ですので、尊敬する園長先生方と自分を比べるのではなく「現場に一番近い園長先生になろう」と。現場の先生がもっと働きやすい職場になるよう、心を尽くすのが私の次の役目。今までたくさん助けてもらったので、これからは返していく時間だと思い、自分にしかできない園長先生になろうと決意しています。

・2015年 パート職員として復帰(旭ヶ丘せいいか保育園)
・2016年 育休
・2017年 パート職員として復帰(旭ヶ丘せいいか保育園主任)
・2021年 副園長代理(旭ヶ丘せいいか保育園)
・2022年 ふたかみの森せいいか子ども園の3歳児担任
・2024年 (仮称)當麻せいいか子ども園 園長予定



my career
松尾亜依先生 AI MATSUO

- ・2010年 入職(せいいか保育園)
- ・2013年 入院・自宅療養(休職)・パート勤務
- ・2015年 正職員復帰(せいいか保育園)
- ・2019年 出産・育休
- ・2020年 パート職員として復帰
(ふたかみの森せいいか子ども園)
- ・2023年 療育施設管理者

体調不良を克服し、保育土を継続

子どもの頃からの夢の保育士になって、3年目に初めて主担任を持って、嬉しくて! でもその年の途中で体調を崩し、入院…。初めて担任した子どもたちを最後まで見られなかった事が悔しくて辛くて。けれど、理事長や園長先生などみんなが「絶対戻って来なさい。先生の居場所は空けてあるから」と言ってくださって。なので、辞めようとか他の仕事に就こうとかは一切、思いませんでした。

療育施設管理者として次のステージへ

復帰してからやりたい保育も全てする事ができて、保育はやりきった、という状態に。次に何を目標にしてがんばろうかと考えた時に、療育に興味がわきました。いったん“せいいか”を辞めて他の園で療育の勉強をしようと思い、園長先生に相談したところ「新園で療育施設を開設する予定だから、その時に居てほしい」と言われ、素直に嬉しかったです。それから“せいいか”で保育士をしながらコツコツ勉強して資格を取り、研修もたくさん行かせてもらって、現在、療育施設管理者として経験を積んでいます。



ライフステージに合わせて働ける

“せいいか”は働き方をフレキシブルに選べるので、長く続けられますね。入院して休職せざるを得なかった時も正職員として復帰させてくれました。また育休を経てパート職員として復帰する際も、例えば1日5時間とか時間を選べますし、週3日勤務とかでも大丈夫。せいいかグループ内で異動もできますし、療育もそうですが、小規模保育園などいろんなステージが選べるので、せいいかグループ内でチャレンジができます。